

日本共産党区議会議員
こんにちは伊藤和彦です



自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

「オウムは要らない」出 拠点施設が進



オウム関連会社とされる「宝樹社」内装工事の建物

足立区入谷9丁目にオウム真理教(アレフ)が施設を取得したというマスコミ報道され、アレフが購入したのは、足立区入谷のおよそ500平方メートルの土地と、4階建ての鉄筋コンクリートの建物。住所は足立区入谷9丁目27-3であることがわかり、地域住民らによる「オウム真理教(アレフ)対策住民協議会」が12日に発足し、13日に旧入谷南小学校体育館で決起集会を開き約700人が参加しました。集会では「安全で安心な生活をするため、アレフの進出に断固反対する」

地域住民が総決起集会開く

この決議文が読み上げられた決起集会になりました。「アレフ」と名前を変えても、オウム真理教の活動を支援していた団体はまちがいなく、地域として受け入れるわけにはいかないことを確認。事実関係を調査し、入谷への拠点

た決起集会になりました。「アレフ」と名前を変えても、オウム真理教の活動を支援していた団体はまちがいなく、地域として受け入れるわけにはいかないことを確認。事実関係を調査し、入谷への拠点

深刻な待機児解消は認可保育園の増設で

経済状況の悪化で働かざるをえない家庭が増え、保育園に入りたくて願う世帯が増えています。足立区の4月1日時点での保育園待機児は436人で、昨年よりもさらに増加しています。日本共産党は深刻な待機

新たな問題がおきています。待機児解消は地方自治体の責任で、児童福祉法では保育に欠けている児童は保育されなくてはならないと記されています。日本共産党は、緊急対策も必要だが認可保育園の本格的な増設こそ必要だとを繰り返して要求してきました。

足立区の待機児436人

足立区は、認可保育園の増設は大規模開発地域に民間企業が建設することとし、待機児解消は認証保育園や保育ママさんを増やすこと等の施策をはかるとしてきましたが、いままでも待機児を解消したことはありません。区は昨年からの待機児解消として、小規模保育園を増設しましたが、これでは朝8時から5時までの短時間で、正規労働者は預けることが出来ないと、

新たな問題がおきています。待機児解消は地方自治体の責任で、児童福祉法では保育に欠けている児童は保育されなくてはならないと記されています。日本共産党は、緊急対策も必要だが認可保育園の本格的な増設こそ必要だとを繰り返して要求してきました。



保育シンポで発言する小池あきら参院議員

小池あきら参院議員は、深刻な事態の原因は、旧自公政権時に、公立保育所の建設費等が一般財源化され、6割を越す自治体が保育予算を減らし、保育所の廃止、民営化、建設の抑制をしてきたこと。こうした事態を打開し、保護者の願いにこたえるために、日本共産党は、国の責任を明確にして、「保育所整備計画」、当面1年間で10万人の保育所建設、産休・育休あけ、求職中などをはじめ保育を必要とするときに預けられる体制をつくる。そのために建設費補助や国有地の活用を提案。自治省は「前向きに検討」と答弁しました。





第33回 まちづくり住宅デーが各地で開催

地元の建設職人が地域で奉仕する一日

住宅エコポイントスタート

6月6日、東京土建足立支部の第33回住宅デーが、区内35カ所で行われました。今回、住まうことは人権という立場から各種公的制度的紹介と各会場の住宅デーの様子をお知らせします。

22年1月1日〜12月末までに工事着手したエコリフォーム(窓の断熱改修・外壁・屋根、天井または床の断熱改修)エコ住宅の新築(省エネ法基準を満たす新築住宅等)工事を行った場合最大30万円のエコポイントが発行されます。



区内35カ所で住宅デー開催



花畑分会(櫻の木公園)会場にて。今回、どの会場でも共通していたのは「子どもに創る楽しみの体験を」とワークショップをやっていたことでした。



花畑分会の会場では、珍しいどじょうつかみ、ザリガニつりの体験。



知り合いの大工さんに言われてカンナをかける(写真上)体験もしました。



無料の包丁研ぎはどの会場も大人気。写真上は花畑分会、下は花保南の会場。

60歳以上の方を含む世帯、障がい者を含む世帯、非課税世帯
助成対象内容
家具等(たんす・食器棚等)の転倒防止器具の取り付け工事費用を助成、窓ガラス飛散防止フィルム設置費用助成、ブロック塀の倒壊防止費用の助成。
助成額
限度額3万円、一世帯に1回限りです。転倒防止器具のみの購入費は助成対象とはなりません。取り付け工事がないと助成されません。

足立区では昨年4月より家具転倒防止器具の取付工事への助成制度が拡充されました。
助成対象者が60歳以上にいる世帯、助成額を3万円(上限)にしてから助成件数が急増しています。
助成対象内容は以下のとおりです。
助成対象者

家具転倒防止器具の助成制度 60歳以上のいる世帯へ拡充

エコポイントは商品券・プリペイドカードなどと交換できます。



家具転倒防止器具の取付工事施工例

悪質業者にご注意を

私は、今回住宅デーの会場を回り、懇談を行い、街に定着した安心できる業者に頼むことの大切さを痛感しました。例えば、地デジ工事でも、水増し工事をして高い費用を請求するなどの業者も出ているそうです。

そこで、安心できる土建組合の総合相談窓口と、地域の相談センター事務局の連絡先は、5845 5011です。

リフト
ム・地
デジに
関して
の悪質
業者に
よる被
害は後
を絶ち
ます。

竹の塚あかしあ 杜祭りが盛大に開催

6月13日(日)竹の塚7丁目、社会福祉法人あいのわ福祉会の「杜祭」(もりまつ)が盛大に開催され伊藤和彦区議も参加者とともに交歓。障害者福祉の利用料は無料化を、負担軽減をと決意あらたに。

